



大学生のキャリア形成支援の現場から

第4回 子の心親知らず①

本庄 麻美子

学生時代の私は、過干渉な親を正直、鬱陶しいと思っていました。就職活動中もよく意見が衝突し「もうそんな時代ではない。そもそも価値観が違うのだから、あれこれ口出ししないでほしい！」とエラそうに言っていました。親の意向はほぼ無視。(今から思うとかなりの親不孝者…) 自立して一刻も早く実家から出て行きたいと心底思っていたので、「転職?どこでも行きます!」と総合職での就職を決めました。あの頃は、年がら年中反抗期だったと未だに親から嫌味を言われますが、皆さんの学生時代はいかがでしたでしょうか。

最近の学生は、学生時代の私とは正反対。「この会社で決めたいけれど、きっと親の本心は違うと思う」「親のことを考えると、実家から出たいという自分の希望は押し切れない…」「公務員試験だけは(受けて)と言われているので、志望していないけれど受けだけ受けます」など、進路を検討するときに親の意向を尊重する傾向にあります。親の期待だけでなく、祖父母の希望も汲み取り、それらすべてに応えようと努力します。そして、親思いで心優しい学生は、周りと自

分の価値観の狭間で思い悩みます。その悩みに対し、話を聞いた上で「それが本当に後悔しない選択なのか」と問いかけることまでで、それ以上はカウンセラーの私が立ち入れない問題です。

採用の現場では、学生本人が入社意思を固めてくられても、最後の最後に親御さんの反対にあい内定辞退されるケースがあるとよく聞きます。そのため、内定者宅へ一軒一軒企業説明に訪問する採用担当者もいますし、内定者の保護者を対象とした会社見学ツアーを準備されるといった事例も珍しくありません。採用側も、家族に理解してもらった上で安心して入社してほしいという想いがあるようです。

学生にとっての良い進路選択とは。それに答えはありません。社会の取り巻く環境は大きく変化しています。最近では AI (人工知能) の技術が発達し、今後 10 ~ 20 年で今ある半数近い仕事が機械に取って代わられるともいわれる時代です。長期的な視点で将来を見据え、進路決定ができる自立・自律した力を学生に養ってほしいと願っています。

(ほんじょう・まみこ / 和歌山大学経済学部助教)

第84回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

音の静寂を聴く

ピアノニッモ
— pp への無限の広がりを感じ
クラヴィコードの世界 —

クラヴィコードの
演奏とおはなし

話題提供者 山名 敏之 (和歌山大学 教育学部 教授)

日時

2016年7月20日 水 19:00 ~ 20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

今日私達は電気によって拡張された音楽に囲まれています。テレビ、ラジオ、オーディオ、レストラン、スーパーマーケット、駅、学校、とありとあらゆるところで大音量の洪水です。音空間の広がり、実は音量とは無関係である、そんな神秘的な体験をしてみませんか?

わだい浪切サロンとは?

毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。申込み不要、参加費無料。

お問合せ先: 和歌山大学岸和田サテライトオフィス 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL & FAX: 072-433-0875

岸和田サテライト 検索